

サービス労働反対！

放っておくと、黙っていると、 どんどん増えるサービス労働！

今、運輸区では出勤・終了点呼時の準備と確認内容が増え、所定の時間内で終了することができない場合が発生しています。ATS-PT導入に当たって確認などの作業変更が発生していますが、実測もされた様子がありません。乗務員報告書は些細なことも報告するように指示しますが、「これでは15分もかからない」と作成時間を短くするための言い方をします。労働外時間に作成することが当たり前になっている職場もあります。

出区点検でも、会社はトイレの確認をするように指示をしていましたが、そのための時間は付けませんでした。そもそも出区点検時間が短いために、朝早く起きて自らの時間を割いている運転士も多くいます。運転士によっては、出区点検基準より多くの点検を時間をつけずに行わせている場合も発生しているようです。

私たちは、1月7日「地本申第8号」として労働時間の見直しを申し入れました。

出勤・終了点呼等の準備時間と出区点検時間の見直しについて 記

1. 職場においては、出発点呼時に事故揭示等の書き写しの作業を指定されているが、準備時間内に出来ないため所定の時間より前に作業を行う現状になっている。準備時間を増やすか、揭示の書き写しをなくすこと。
2. 運転士・車掌の点呼時間、出勤時間が重なると当直カウンターに列ができ点呼が遅れ、その後の出区点検、移動時間等が無くなっている。点呼する窓口と管理者を増やすこと。
3. 乗務報告書の作成にあたって、作成時間は超勤扱いとすること。
4. 事故報告書は休養前など勤務の途中で求めず、勤務終了後に行うこと。
5. 乗務終了から終了点呼までに行う事が多くあり、時間が少ないので準備報告時間を長くすること。
6. 出区点検時のドア試験の際、曲線により後ろの車側灯が確認出来ない場合、移動して確認することになるので、そのための時間を確保すること。
7. 出区点検が短いため、車両故障等のトラブルが発生すると連絡、処理に時間がかかり点検時間が無くなり所定の点検ができないので改善すること。
8. 伊那松島運輸区では総点検時揭示物を記入し提出するが、面談と指導により終了点呼時間内に点呼ができないので揭示物の物の記入を止めること。
9. 出区点検で臨時に点検箇所と項目（過去の例、トイレ・無線機など）が、発生したときは実質の時間を付けること。
10. ATS-PT導入関連による出区点検項目が増えるので、出区点検の時間を増やすこと。